

邂逅

波濤を乗り越えて

神商19回生
中山 浩和

はじめに、神戸商業同窓会は何故龍神会と称したのかについてふれておきたい。大きな理由は昭和八年龍神ヶ丘(灘区徳井字土山)に新校舎が完成したことだからであるが、ではその場所がどうして龍神ヶ丘とよばれていたのかは、田辺真人教授執筆の「こうべ学」を繰くと、弘法大師が中国へ渡るときに不思議と龍神が茅渚の浦にあらわれるので、再度山に寺(大竜寺)を建立したとある。従って、その龍神の出現がよく見える眺めの良い丘であったと考えられる。

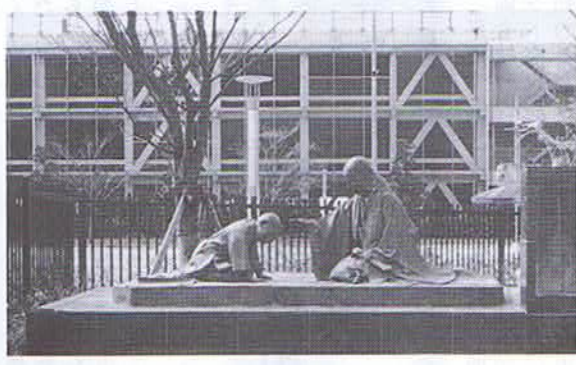
さて、昭和十六年四月に私は、桜花爛漫の地獄坂を登って入学したが、神戸市立第三神港商業学校で、翌年灘商業学校と改名され、昭和十九年には戦時要請により下級生(一、二年)は造船工業学校となった。母校は創立以来今日迄に九回も名が変わり、ここに神戸市立六甲アイランド高等学校としてスタートした。

昭和二十年、私は大阪専門学校(現近畿大学)に休学届けを提出して、海軍航空隊に入隊したが、同年九月終戦により復員すると同時に復学が出来たおかげで、今日の人生の基盤が確立したようである。

邂逅

楠母校の庭へ

市一女30回生
岡田 美代



旧市立第一高女卒業生の間で、最近のニュースとしては、旧母校校庭に残されていた「楠公母子像」の移設という出来事でした。

この像は、昭和十二年二月、校舎新設記念事業の一つとして、職員・在校生・卒業生・父兄らの協力により寄贈されたもので、長く女子教育の鑑として顕彰されることになっておりました。ところが、終戦後、転々とした校舎の移転の間、像は残されたままになっていたのでした。

市一女二回生から

湊川三回生まで

湊川3回生
原田 八重子
(旧姓 岡本)

私ごとで大変恐縮ながら、母を含めましておば、従姉妹、私に至りますまでの一族が、八十八年の清流のながれの中で、学ばせて頂きましたことを今感無量の思いで振り返っております。

母は七人きょうだい、うち六人が女、下から二番目だけが男でした。旧姓は「岡田」と申しますが、長姉が第一回生で、以下妹たちが続いております。

- 長女 第一回生 沼田美恵子(伯母)
- 二女 第四回生 岸田 好子(〇)
- 三女 第六回生 岡本 敏子(母)
- 四女 第九回生 市川 秋子(叔母)
- 五女 第十回生 沼田 花子(〇)
- 六女 第十六回生 遠坂 春子(〇)

ただ一人の叔父の嫁も、第十九回生、岡田明子(旧姓 伊勢 義叔母)父は長男で、弟と妹二人でしたが、下の叔母も市一で、第十八回生 久本富久子(旧姓、岡本)。

- 右の第一世代から、私共の第二世代になる
- 第二十九回生 福田郊江 (市川秋子の長女)
- 第三十三回生 太田美代子 (沼田花子の長女)
- 湊川三回 原田八重子 (岡本敏子の長女)

の従姉妹と、母方(岡田)又従姉妹の第三十三回生 福田淑子(旧姓、鯉田)で、以上十二人が学ばせて頂きました。

は驚いておりますが、神戸商業高校の伝統と、市女の伝統の上にありますことを、これからの若い方たちにも理解して頂き、六甲山からの緑の風と神戸港の明るい陽光のもと、精いっぱい勉学され、未来に向かって歩まれますことを心より願ひ、六甲アイランド高校の発展を祈る次第でございます。

母の日

湊川21回生
大川 貴美

高校を卒業し、早三十年。皆様、いかがお過ごしでしょうか。高校生達を見掛けると、恩師や旧友を懐かしく思い出される今日この頃です。

街のあちらこちらには、「お母さん、ありがとう」のメッセージ、そして花屋にはカーネーションが一杯！ そう、今日は母の日です。そこで、私の母の話を書かせて下さいね。

母八十歳、兄と一緒に住んでいます。足が少し不自由になりましたが、元気で、気がなつて来ましたが、元気で、子供を持つて知る親の恩、本当にそうなんです。私も五十歳、三人の子の母です。

今は三人共成人しましたが、ずい分と泣かされました。これからの心配の種はつきないようですが、昔を振り返るとあの時の私も子供達と同じように母を困らせ泣かせていたのでしょうか。ごめんね、お母さん。今からでも遅くないからね。いっぱい親孝行するうにと、母親連れ出し作戦となるものを姉達と考へ、桜を見に行こうよ。

お買物に行こうよ。美味しいものを食べに行こうよ。と出不精になった母を誘い出しています。実家に行く、「何しに来たん？」と言われますが、一緒に食事をして、おしゃべりして、笑っている母を見てるとうれしくなります。私には一年中が父の日・母の日です。

新生母校の発展を

心より祈る

神商44回生
小岩 れい子
(旧姓 栗)

二十世紀最後の年、昨年十一月四日(土)神戸ハーバーランドのニューオータニにて、当時三年D組の担任、北島作一郎先生を迎えて、約五十名程が集まって、楽しい会食を交えました。

この四十四回生は、オリンピック開催の年に合せて、四年に一度開催し、当時の思い出話や、近況をお互いに話し合っています。私は前回九六年の同期会より、参加させて頂き今回二回目ですが、このように定期的に楽しい一時を過ごさせて頂けるのも、その会をお世話して下さる頼もしい方々のご努力があつてこそだと感謝しております。

卒業して以来、時は流れに流れて三十年をすぎようとしています。今年はこの間、めまぐるしく変化を続けて、今やどちらを見ても聞いても飛び込んで来るのはIT革命とやらでの情報の中、残念なことには今はなき、あの懐かしい、長閑な風景のあるわが母校神商の学び舎、そして清らかな山の水が注がれていた風景ある日本庭園、本当に静かな環境の中の素晴らしい校風を私は今も誇りにおもっています。

震災という大きな苦難も乗り越えて来た懐かしい友の顔が、あの時のまま！今、学生服を着たらそのまま学生時代にタイムスリップ出来てしまいたいような、そんな楽しさが同期会にはあるのです。そして現在、我が母校、神戸商業高校は、赤塚山高校との統合で六甲アイランド高校として未来海上都市、六甲アイランド内に新たな出発をして三年、六甲アイランド高校一期生として入学した生徒が今年卒業し、三校が一つの同窓会として新たな歴史を重ねつつあります。

新生母校に想うことは、旧両校の良き校風と培って来た歴史を温めながら、更に、新しい良きものを築いて頂きたい。そして、未来に大きくはばたける心豊かな人材が育まれるよう願っております。古き良き友との出会いの場、同窓会、

同窓会の思い

神商60回生
森山 明昌

私は平成六年末に旧龍神会の経理部長に任じられ、六甲アイランド高校同窓会でも経理部長として、弱輩ながら同窓会活動に参加していました。しかし、昨年十月に仕事の都合で東京に転勤となつてしまい、残念ながら経理部長を辞任させて頂いたままです。在任中は皆様方からのご厚情に深く感謝いたします。

さて、神商の数ある激動史の中で私にとつての激動は、「阪神・淡路大震災」に伴う校舎の被災でした。校舎は悲惨な状態にあり、この状況を全国の会員に知らせる必要があると思つた私は写真に収め、「りゅうじん」号外号に載せるに至りました。その甲斐あつてか、龍神会で募集した「母校震災復興基金」では多くのご寄付をいただき、母校復興の大きな礎になりました。しかし、新高校への統廃合が決まり、復興から新高校創立への進路変更となりました。「神商」という名の母校が無くなるのは寂しいという気持ちでいっぱいでした。多くの会員が同じ気持ちであつたと思ひます。しかし、ある会員で「家族全員が同じ同窓生になり、統合総会が楽しみ」といった話もあり、このような会員の

ためにも統合するのと同じ思い、新同窓会設立準備委員会のメンバーに参加し、統合に全力を尽くしていくことにしました。準備委員では各委員が和気あいあいな雰囲気話を進めていくことができ、昨年八月の統合総会にきつつけ、統合の一端を担うことができ、感無量でした。

今年三月には六甲アイランド高校第一期の卒業生を迎え、三校合同の同窓会が正式に動き始めました。また、私の身の回りでも、会社の知り合いの娘さんが、この四月に四回生として六甲アイランド高校に入学し、後輩が身近にできたといいことで、六甲アイランド高校に対する親近感がより一層増しました。六甲アイランド高校生のため、また、我々同窓会会員のため、今後、より一層の発展をお祈りいたします。

過去の思い出と 現在思っていること

神商71回生
上野 聡美
(旧姓 中野)

私は神戸商業高校在学中の三年間、生徒会の活動に力を入れてきました。一年の中で数多く行われる年間行事の企画・運営をまかされ、特に文化祭などの大きな行事の企画は半年ぐらいかけて、じっくりと話し合い、合宿なども行いました。失敗して、泣いたり弱音を聞いた時もありましたが、終わった後のあの達成感と安堵感は何とも言えない感じで、今でも忘れられません。私が高校三年生の時に、赤塚山高校との統合の話が持ち上がり、赤塚山高校の生徒会の方々と交流会を行ったり、両校合同で企画を立案し、大交流会なども行うことができました。自分の母校がなくなってしまうという悲しさはありましたが、それ以上に、新高校への期待も大きかったです。神戸商業高校七十四年間の歴史の中で、私は、西岡本の最後の卒業生として、新高校との架け橋に少しでも携われたことを嬉しく思っています。そして、今の自分があるのも、きっと神戸商業高校で、たくさんの人に出会い、たくさん人の経験ができて、たくさんの人に支えられてきたからではないかと思っています。今では、私たちの通っていた学校もなくなり、着ていた制服も見かけなくなりましたが、六甲アイランド高校という新しい形で今まで以上に素晴らしい学校をつくり上げ、活躍されることを願っております。

悔いなし!! 楽しかった高校生活

六アイ高1期生
澤田あゆみ

四月八日の朝、新二年生になった六アイ生に馴れ合った。久しぶりに見た標準服が、とてもなつかしく、「私も頑張ろう!!」という気持ちになった。
大学生になって、高校の時の話を新しくできた友達とする。みんな「高校生活に戻りたい」と言うが、私はあ

まり思わない。それは、高校が楽しかったからでなく、私は六甲アイランド高校での三年間で、やり残すことなく、思いっきり楽しんだからだ。
新設の、それも全く新しいシステムの学校の一期生となり、難しいところもあつたけど、たくさん先輩に出会えた三校合同での生活。また、六アイに三学年が揃った時の喜び。それら全てを一期生と先生達で感じながら過ごした高校時代。

私は、高校の話を友達にする時、とても自慢気になる。友達もみんな「すごい新しいかんじの学校でいいなあ」と言ってくれる。そのたび、六アイを選んだこと、六アイに入学できたこと、六アイでみんなに出会えたこと、六アイで生徒会長をやらせてもらったこと、六アイで自分の夢を見つけたことを、本当に良かったなあと思えるのもきつと、一生懸命に頑張ったこともあるけれど、一期生魂と一緒に燃やした仲間と先生がいたからだ。大学では絶対に同じような生活はありえない。
だから今、六アイ生のみんなには、卒業してからいい意味で「もう高校生には戻らなくていいわ」と言えるぐらい一生懸命に過ごしてほしいと思う。

そして私は、大学を卒業した時に同じ気持ちになれるように、自ら進んで積極的に物事に取り組みたい。私の今の目標は、二年後に教育実習生として六甲アイランド高校に帰ることです。その目標を実現する為に頑張ります。

緑美しき我が母校

赤塚山高4回生
富山 恵子
(旧姓 松山)

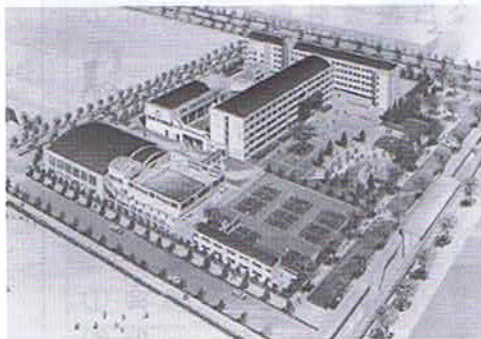
私は深田の池からバスに乗らずによく歩いた。歩くのが好きだから歩いたのではない。バス代を小遣いにするために歩いたのだ。
でも、しんどかった。軽く四十分はかかったと思う。ずっと坂道で、まだまだ自然が一杯の本道の山道である。大好きなまりちゃんをよく歩いた。ふうふういいながら、たどった学校はとても荘厳であった。

僕たちの手で 伝統と歴史を

六アイ高3年6組
福若 壮平

僕は、ずっと中学の時から生徒会というものに興味があつて、高校でやってみようと思つていました。そして、この六甲アイランド高校で生徒会をするという事は、新しいものを「造る」という事で、本当にやりがいのある事だと思つていました。
今、生徒会は、とても大変です。文化祭の早まった事が新しい六アイの生徒会にとって、大きな壁になつ

ています。中学校では、文化祭を行うとなると、「先生の力」があり、「前例」があつて、言い方が悪いかもしれませんが、六アイには、資料になるだけの「前例」がなく、「先生の力」よりも、僕達の力を見せなければならぬので大変です。
僕は、副会長をやっているのですが、とびぬけて、頭がいいとか、人をまとめる力があるわけでもないの、他の生徒会メンバーには、すごく迷惑をかける状態です。皆がしっかりしているから、助けられています。会長には、発想力とまとめる力があり、他のメンバーにも行動力やまとめる力があつて、自分で褒めるのもおかしけれど、これだけのメンバーは、簡単には見つからないと思います。
この学校が、新しいという事もあるけれど、一人一人が中心で、学校があると思います。それは、生徒会だけでなく、生徒一人一人だと思つています。それに、この学校より、自分の将来に夢を持てたり、具体的な勉強ができて、自分を考えることができる学校だと思つています。だから、自分をしっかり持たなければ、やっていけないと考えています。そんな緊張感もあつて、今学校がすごく楽しいし、皆もそう思っているのではないのでしょうか。
今、僕らの生徒会の目標は、伝統をつくり、残すことです。めったにできる事ではないのです。だから、大変だけれど、仕事に集中したり、乗り越えることができます。見ていくください。僕たちのつくっていく伝統、歴史。そして六甲アイランド高校を。



校舎全景

平成13年度同窓会総会ご案内

昨年、清流会・龍神会の統合総会を行いました
多数のご参加ありがとうございました
今年は六甲アイランド高校の1期生を迎え総会を開催し
歓迎の意を表したいと思います

日時 | 平成13年 8月25日(土) 午後5時開催
(4時30分から受付)

場所 | ホテル ゴール神戸 16階 バルセロナの間
神戸市中央区港島中町6丁目1番地 (2F神戸商工会議所)
☎ 078-303-5500 ポートライナー市民広場前駅下車東

会費 | ￥5,000 (但し 1期生は￥3,000)



神戸市立六甲アイランド高等学校同窓会会則(保存版)

第1章 総 則

- 第1条 本会は、神戸市立六甲アイランド高等学校同窓会と称す。
 第2条 本会は、本部を神戸市立六甲アイランド高等学校内に置き、必要などころに支部を置くことができる。

第2章 目的及び事業

- 第3条 本会は、会員相互の研修、親睦を図り会の発展と共に、母校の発展に寄与することを目的とする。
 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 1 総会の開催
 2 懇親会の開催
 3 会誌、名簿の発行
 4 会員相互の連絡及び研修
 5 その他母校の発展に寄与する事業

第3章 会 員

- 第5条 本会の会員は次のとおりとする。
 1 正会員
 (1) 清流会会員(別表第1)
 (2) 龍神会会員(別表第2)
 (3) 神戸市立六甲アイランド高等学校卒業生
 (4) 前項の中途退学者で常任理事会において承認した者
 2 特別会員
 母校の教職員であった者で常任理事会で推薦した者
 3 名誉会員
 前項に掲げる者以外の者で本会と特別な関係があり、常任理事会の推薦により総会において承認された者
 第6条 正会員となる者は、常任理事会で議決された入会金を納めるものとする。
 2 正会員は、常任理事会で議決された年会費を毎年納めなければならない。
 第7条 会員は次の事由により資格を喪失する。
 1 退会
 2 死亡、失踪宣告
 3 除名
 第8条 会員で本会の名誉を傷つけ又この会の目的に反する行為があった者は、常任理事会の議決を経て会長がこれを除名することができる。
 但し、事後の総会で追加承認を得なければならない。

第4章 役 員

- 第9条 本会に、次の役員を置く。
 1 会 長 1名
 2 副会長 若干名
 3 専務理事 1名
 4 常任理事 50名以内
 5 理 事 各卒業年度毎に3名以内
 6 監 事 2名
 7 相談役・顧問 若干名
 第10条 常任理事の中に、次の役職を置く。
 (1) 総務部長
 (2) 会計部長
 (3) 広報部長
 (4) 組織部長
 第11条 役員の任期は2年とする。
 2 役員は、再任されることができる。但し、会長の任期は2期4年を限度とする。
 3 役員は、次期役員が就任するまでの間その職務を行う。
 第12条 会長は、常任理事の中から常任理事会において互選する。
 2 副会長・専務理事は、会長が指名し常任理事会において承認された者とする。
 3 常任理事は、会長が理事の中から指名し常任理事会において承認された者とする。
 4 理事及び監事は、正会員の中から総会において選任する。
 但し、欠員を生じたときは、常任理事会の議決により補充することができる。
 5 相談役・顧問については、総会において推薦する。
 第13条 役員の仕事は、次のとおりとする。
 1 会長は、本会を代表し総会並びに役員会の招集、その他の行事を推進する。
 2 副会長は、会長を補佐し会長不在のときはその職務を代行する。
 3 専務理事は、会長の命を受けて事務を掌握する。
 4 常任理事は、専務理事を補佐する。
 5 理事は、常任理事を補佐する。
 6 監事は、会計を監査し総会において報告する。
 7 相談役・顧問は、本会の相談に応じる。

第5章 会 議

- 第14条 常任理事会及び理事会(以下「役員会」という。)は、第4章役員にて構成し、必要に応じて会長が招集する。
 第15条 常任理事会の招集は、少なくとも一週間前までに期日、場所、議題等を当該役員に通知するものとする。
 第16条 常任理事会は、総会をはじめ各種行事の企画立案、会の運営等を審議する。
 第17条 総会は、通常総会と臨時総会とし、通常総会は年一回開催し、臨時総会は必要に応じて開催する。
 2 総会は会長が招集し、またその議長となる。
 第18条 総会は、次の事項を議決または承認する。
 1 役員を選任
 2 決算、予算の承認
 3 その他、本会運営上の重要な事項
 第19条 役員会の議決は、相談役、顧問、監事を除いて出席者の過半数の賛成を必要とする。
 2 役員会の議決事項を議事録に記載しなければならない。
 3 議決事項のうち重要な事項は、総会の議決又は追加承認を必要とする。
 第20条 総会の議決は、出席者の過半数の賛成を必要とする。
 但し、総会における会則の改正は、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

第6章 会 計

- 第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
 第22条 本会の経費は、入会金、会費、臨時会費、寄付、その他の収入をもってこれに充てる。
 第23条 入会金は、母校在学中に納入するものとする。
 第24条 会計は、監事の承認を得て常任理事会において会計報告を行う。
 第25条 会計報告の結果は、会員に報告する。

第7章 支部及び委員会

- 第26条 支部の結成は、常任理事会の承認を必要とする。
 第27条 支部責任者(支部長)は、速やかに本部に次の事項を通知しなければならない。
 1 事務局の所在地
 2 役員(責任者一覧)
 3 支部の重要事項(行事等)
 第28条 支部に関する経費は、原則として支部の負担とする。
 第29条 本会の事業遂行につき必要があるときは、委員会を設けることができる。
 その委員は、常任理事会において選任する。

細 則

- 第30条 本会則施行について、細則が必要な場合は常任理事会で定める。

付 則

- 1 この会則は、平成12年(2000年)8月26日から施行する。
 2 次に掲げる会則は、廃止する。
 (1) 清流会会則
 (2) 龍神会会則

別表第1(清流会会員)

- 1 神戸市立高等女学校を卒業した者
 2 神戸市立第一高等女学校並びに同併設中学校を卒業した者
 3 神戸市立女子技芸学校を卒業した者
 4 神戸市立湊川高等学校を卒業した者
 5 神戸市立摩耶高等学校を卒業した者
 6 神戸市立赤塚山高等学校を卒業した者

別表第2(龍神会会員)

- 1 神戸市立第三神港商業学校を卒業した者
 2 神戸市立灘商業学校を卒業した者
 3 神戸市立商業学校を卒業した者
 4 神戸市立灘商業高等学校並びに同併設中学校を卒業した者
 5 神戸市立葺合高等学校(昭和24、25年)を卒業した者
 6 神戸市立神戸商業高等学校を卒業した者

神戸市立六甲アイランド高等学校同窓会役員

(平成13年7月現在)

役名	役職	氏名	卒業年	回生
会長		高野 文男	1958・3	湊川10回
副会長		三好 寛文	1942・12	神商16回
副会長		山田 正孝	1960・3	神商33回
副会長		吉田 健剛	1961・3	湊川13回
専務理事		北風 健	1954・3	湊川 6回
常任理事	総務部長	広狩 裕	1954・3	湊川 6回
常任理事	会計部長	中井新三郎	1963・3	神商36回
常任理事	広報部長	中村 彰雄	1967・3	湊川19回
常任理事	組織部長	竹田 峰子	1969・3	神商42回
常任理事		石川 明	1938・3	神商11回
常任理事		樋口恒次郎	1938・3	神商11回
常任理事		村田 甫	1940・3	神商13回
常任理事		長谷川悦市	1941・3	神商14回
常任理事		中沢 英八	1941・12	神商15回
常任理事		細見 政雄	1942・12	神商16回
常任理事		森田 五郎	1945・3	神商18回
常任理事		中山 浩和	1945・3	神商19回
常任理事		藤井美代子	1946・3	高女30回

役名	役職	氏名	卒業年	回生
常任理事		宮崎 紀子	1946・3	高女30回
常任理事		沢井トシ子	1949・3	高女33回
常任理事		大山 和子	1951・3	湊川 3回
常任理事		山本 順子	1953・3	神商26回
常任理事	総務副部長	今西 祥介	1954・3	神商27回
常任理事		清川 正義	1954・3	神商27回
常任理事		佐藤 守	1955・3	湊川 7回
常任理事		安武 瑛子	1955・3	湊川 7回
常任理事	総務委員	西川 功	1956・3	神商29回
常任理事		亀井 文子	1957・3	湊川 9回
常任理事		林 洋子	1957・3	湊川 9回
常任理事		原 吉蔵	1960・3	湊川12回
常任理事		木村 要子	1964・3	神商37回
常任理事		長野 紀子	1964・3	湊川16回
常任理事		大塚 広子	1965・3	神商38回
常任理事		清岡 正隆	1965・3	湊川17回
常任理事	広報委員	古川 雄二	1966・3	湊川18回
常任理事		前田 朱美	1968・3	神商41回

役名	役職	氏名	卒業年	回生
常任理事	広報・組織委員	吉田 光子	1968・3	湊川20回
常任理事	総務委員	酒井 秀人	1969・3	湊川21回
常任理事	組織副部長	佐々木正夫	1969・3	湊川21回
常任理事		高橋 直美	1969・3	湊川21回
常任理事		山地 千恵	1969・3	湊川21回
常任理事	組織委員	藤本 勝子	1970・3	神商43回
常任理事	広報副部長	西中 博子	1971・3	神商44回
常任理事	会計副部長	角田 潔	1973・3	赤塚山4回
常任理事	広報委員	山本 唯司	1973・3	赤塚山4回
常任理事	組織委員	川辺 直也	1982・3	神商55回
常任理事		森山 明昌	1987・3	神商60回
常任理事		田中洋二郎	1995・3	神商68回
常任理事	広報委員	中垣内 桐	1995・3	神商68回
常任理事	事務局	津村登志子	1954・3	湊川 6回
監査		大慈 善雄	1949・3	神商22回
監査		大塚 勇雄	1952・3	湊川 4回

(卒業年次順)

平成12年度会計決算報告書

H12.10.1-H13.3.31(単位:円)

取入費目	予算額	決算額
① 清流会・龍神会拠出金	400,000	59,543
② 一般会費	0	1,961,094
③ 同窓会入会金	9,600,000	9,455,002
④ 諸収入	0	81,316
合 計	10,000,000	11,556,955

支出費目	予算額	決算額
① 会議費	175,000	66,320
② 印刷諸費	160,000	170,415
③ 郵送料	57,500	13,580
④ 卒業記念品費	400,000	404,880
⑤ 会員名簿登録費	100,000	0
⑥ 慶弔費	100,000	30,000
⑦ 事務諸費	185,000	298,641
⑧ 予備費	8,822,500	0
(小計)	10,000,000	983,836
⑨ 次年度繰越金	0	10,573,119
合 計	10,000,000	11,556,955


次年度繰越金の内訳

1.取扱現金残高	100,492円
2.普通預金	10,472,627円
計	10,573,119円

平成12年度決算監査の結果、正当であることを認めます。

平成13年 4月 1日

監事 大慈善雄 

監事 大塚勇雄 

平成13年度会計予算(案)

H13.4.1-H14.3.31(単位:円)

取入費目	予算額
① 前年度繰越金	10,573,119
② 年会費	2,000,000
③ 同窓会入会金	4,640,000
④ 出席会費	1,000,000
⑤ 諸収入	200,000
⑥ 預金利息	2,000
合 計	18,415,119

支出費目	予算額
① 総会費	1,600,000
② 会報発行費	777,000
③ 卒業記念品費	450,000
④ 母校後援会費	200,000
⑤ 会議費	400,000
⑥ 印刷費	282,000
⑦ 郵送料	2,602,000
⑧ 慶弔費	100,000
⑨ 事務諸費	600,000
⑩ 周年事業積立金	1,000,000
⑪ 予備費	500,000
(小計)	8,511,000
⑫ 次年度繰越金	9,904,119
合 計	18,415,119

事務局だより

清流会、龍神会が統合されて初めての同窓会の会報が発行されました。
皆様のお手許に無事届きましたでしょうか。
六甲アイランド高校の第1期生も今春迎えました。
赤塚山高校・神戸商業高校が再編され、平成10年に「六甲アイランド高校」としてスタート致しました。当時同窓会は個々に活動していましたが、昨年8月に統合の総会を持ち名前も新しく「六甲アイランド高校同窓会」として活動を開始。広報部を中心に多くの会員の努力で第1号の会報が出来上がりました。

今までいろんな面で違った組織が一緒になるには幾度となく話し合いを重ね、お互い歩み寄るところは歩み寄り、討議するところは討議をし4頁に掲載してありますように立派な会則も出来ました。統合しました同窓会は一步一步確実な歩みを始め、しっかりと基礎を築きつつあります。出来るだけ多くの会員の方々に同窓会の活動に親しんで頂けるよう下記のように名称を募集しております。是非素敵な名前を考えて頂きたいと願っています。
事務局にはいろいろな問い合わせ、おしかりも含めてお電話、お便りを頂戴します。その時必ず出身校、回生を明記して下さいようお願い致します。
平成15年に同窓会名簿を発刊の予定です。今から準備を少しずつ進めていきます。

今回の会報の届かない同窓生をご存じの方は事務局までご一報下さい。又氏名・住所の変更された方もご連絡方よろしくお願い致します。1人でも多くの方に六甲アイランド高校を「我が母校」と親しんで頂けるためにも是非同窓会室にお出かけ下さい。火曜日10時30分より3時まで出ております。
事務局を引き継いで下さる方を募集しています。週1回素敵な環境で簡単な事務をしています。一度見学にお越し下さい。お待ちしております。
(湊川6回生 津村登志子)

TEL・FAX 078-858-4083

平成13年度 教職員異動

離任	校長 山崎由人 (芸術)	退職
事務	長 小林 務	交通局施設管理課長
教頭	桑山孝造 (理科)	兵庫商業高校教頭
助教	竹井公一 (理科)	北神戸中学校
論	梅見直樹 (英語)	神戸西高校
論	寺口温子 (保体)	
論	近藤善子 (家庭)	
論	安本真子 (家庭)	
実習助教員	David Kellum	甲南女子高校・甲南女子中学校
英語指導助手	福 憲久 (国語)	兵庫教育大学に内地留学

兼任	長 飛谷直恒 (芸術)	神戸工業高校
事務	長 松元英介	市民局広報相談部主幹
教員	頭 菱田 浩 (数学)	須磨高校教諭
論	高野剛彦 (地歴公民)	兵庫教育大学 内地留学
論	梅倉奈緒 (英語)	須磨高校
論	堀北和久 (保体)	摩耶兵庫高校
論	出口麻美 (家庭)	六甲アイランド講師
論	吉田麻理 (家庭)	新卒
実習助教員	Thomas Youtz	兵庫商業高校
英語指導助手	板倉洋子	新卒
情報教育指導技術員		

学 校 行 事

平成13年	5月18日(金)	学校祭「六愛祭」
	10月1日(月)	創立記念行事
	10月12日(金)	体育祭
平成14年	2月末(未定)	同窓会入会式
	〃	翌日卒業式

お く や み

小林 一三 (旧職員) 平成12年2月15日
岡本 雅子 (旧職員) 平成12年9月11日
横須賀聖美 (旧職員) 平成12年11月18日
谷 久二 (旧職員) 平成12年12月27日
岡田 秀大 (旧職員) 平成13年1月19日
殿界三依子 (市25回幹事) 平成13年4月18日
ご冥福心よりお祈り致します。

募る!! 同窓会「新名称」

「旧龍神会・旧清流会・六甲アイランド高校同窓会」が一つになりました。
今回は「六甲アイランド高校同窓会」で会報を発行しましたが、新生同窓会にふさわしい皆さんが親しめる名称を募集します。
総会の日を持ってきて頂くか、郵送の場合は8月20日までに事務局までよろしくお願い致します。

同窓会入会式

卒業式前日、2月22日(木)、六甲アイランド高校の1期卒業生385名の同窓会入会式が、同校体育館で行われた。
1期卒業生が新生・六甲アイランド高校同窓会に、若い力で新風を吹き込んで下さることを期待し、同窓会活動への参加を呼びかけた。各クラスの理事を紹介、理事の代表より決意・抱負を述べて頂いた。
この方々が1期生として横のつながりを大切にしながら更に、縦のつながりの同窓会とのパイプ役になって下さることを大いに期待したい。



部 活 動 成 績

- 【運動部】**
- 剣道部**
 - 秋季市内新人剣道大会 女子団体第3位 県大会出場
 - 神戸市立高校大会 男子個人段外の部優勝
- 柔道部**
 - 高砂市市長杯争奪兵庫県高等学校新人大会 女子団体第9位(近畿大会出場権獲得)
 - 神戸市内高等学校新人大会 女子団体第3位
 - 神戸市内高等学校団体別大会 女子48・級2位
- ゴルフ部**
 - 第20回全国高等学校ゴルフ選手権春季大会 関西地区決勝大会出場(2年生男子)
- 陸上競技部**
 - 兵庫県高等学校総合体育大会 男子円盤投第3位(近畿総体出場)
 - 第33回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会 男子円盤投出場
 - 平成12年度全国高校総体混成競技兵庫県予選会 8種競技第4位
- ボート部**
 - 第41回兵庫県高等学校新人大会 男子ダブルスカル第2位・第3位 女子ダブルスカル第3位
- 男子バドミントン部**
 - 兵庫県高等学校総合体育大会神戸市予選 団体戦第2位(県総体出場権獲得)
 - 兵庫県高等学校総合体育大会 団体戦3回戦進出 個人2回戦進出
- 女子バドミントン部**
 - 第26回神戸市立高校大会 団体戦優勝
 - 新人戦市内大会 団体ベスト8
- ダンス部**
 - 全国高等学校・大学ダンスフェスティバル県予選 第3位(全国大会出場)

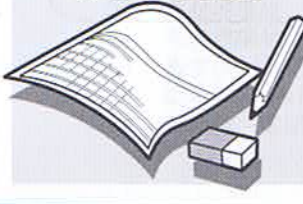
- 女子バスケットボール部**
 - 神戸市民大会 第3位
 - 兵庫県総合体育大会 第9位
 - 神戸市総合体育大会市予選大会 優勝(4年連続)
 - 兵庫県高等学校新人大会神戸地区予選 第9位
- 男子ハンドボール部**
 - 神戸市春季リーグ戦3部 第1位
 - 神戸市立高校大会 第2位
 - 県民大会 第2位
- 女子ハンドボール部**
 - 神戸市秋季リーグ戦1部出場
 - 兵庫県高等学校総合体育大会 第5位
- 男子バレーボール部**
 - 神戸市春季大会 準優勝
 - 兵庫県高等学校総合体育大会 ベスト16 近畿大会出場権獲得
- 女子バレーボール部**
 - 兵庫県高等学校 新人大会出場
 - 全国春の高校バレーボール大会 兵庫県予選出場
- サッカー部**
 - 神戸市春季リーグ戦2部 第1位
- 女子ソフトボール部**
 - 神戸市立高等学校大会 第6位
- 卓球部**
 - 兵庫県高等学校総合体育大会出場
- 水泳部**
 - 兵庫県高等学校総合体育大会 50%・100%自由形女子の部 近畿大会出場
- シンクロナイズドスイミング部**
 - 第54回近畿大会出場
 - 兵庫県高等学校室内選手権大会 ルーティン競技(ソロ)優勝
- 男子ソフトテニス部**
 - 兵庫県高等学校新人大会団体 第5位
- 女子ソフトテニス部**
 - 兵庫県高等学校新人大会出場

- 【文化部】**
- 吹奏楽部**
 - 吹奏楽コンクール高校Aの部 神戸地区大会 金賞受賞
 - 同県大会 銀賞受賞
 - アンサンブルコンテスト兵庫県大会 金管8重奏 銀賞受賞
- 弦楽部**
 - 神戸市立高等学校 芸術祭参加
- 放送部**
 - 兵庫県高校生総合文化祭 放送部門 アナウンス佳作受賞
- 美術部**
 - 全日本高等学校デザイン・イラスト展 文部大臣団体賞受賞
 - 全国高等学校デザイン・イラスト展 団体 全国優秀高等学校賞 個人 全国入賞3名、全国入選3名 近畿地区入賞7名 神戸ユース賞受賞
 - 神戸市民美術展 神戸労働者福祉協議会会長賞 神戸市民文化振興財団賞 入選2名 佳作2名
- 生物部**
 - 日本学生科学賞 兵庫県コンクール 神戸市長賞(全国大会にも出品)

クラブ活動

- 運 動 部**
- 陸上競技(男・女)、柔道(男・女)、バスケットボール(男・女)、ラグビー(男)、ソフトテニス(男・女)、ハンドボール(男・女)、剣道(男・女)、ダンス(女)、卓球(男・女)、バドミントン(男・女)、サッカー(男)、ソフトボール(女)、水泳(男・女)、バレーボール(男・女)、硬式野球(男)、ゴルフ(男・女)、ボート(男・女)、シンクロナイズドスイミング(女)
- 文 化 部**
- 家庭科、茶道、華道、演劇、書道、吹奏楽、ESS、生物、コンピュータ、放送、弦楽アートデザイン(美術)、マンガ研究、写真、フラワーアレンジメント

編集後記



この春のあるうらかな日曜日のことであった。突然、高校の先輩の訪問を受け、「会報発行の準備が、都合で滞っているので何とか手伝ってくれないか」と談判された。
今年は小生の所属する業界内で役員のお鉢が回ってきそうなお囂気であったため、内心「不味いな…」と思ったものの、彼の先輩氏の有無をいわずぬ口調と食い入るような眼差しに、つい、うなずいてしまったのであった。

そんな事情ながら、編集会議に赴いてみると、二つの異なる同窓会にはそれぞれの歴史や伝統が確立しており、まさに「文明の衝突」を覚えさせられるところであった。しかしながら、編集に関してはベテラン揃いであり、立場の違いを超え、一致協力して会報を作り上げることができたと思う。このような出逢いを契機とし、より深い交流が広がることを望むものである。

経験豊富なスタッフの皆様のおかげで、創刊号としてふさわしい会報にする為、何度も集まり心を砕き、編集に取り組んでまいりました。会員の方々よりお寄せいただいた、それぞれに綴られた母校の思い出が、お互いの学校の歴史・伝統を理解し合える一助となれば、と思います。原稿をお寄せくださいました皆様、スタッフの皆様、ご協力本当にありがとうございました。

(湊川19回 中村彰雄)

(神商44回 西中博子)